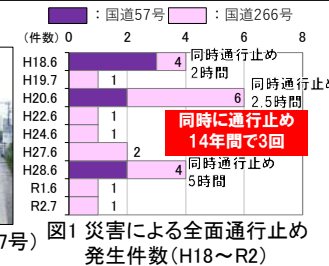


熊本天草幹線道路(宇土～三角)における計画段階評価

1. 熊本県宇土～三角地域の課題

①災害時の通行止めによる孤立の発生

○国道57号と266号は、法面崩壊による通行止めが度々発生し、両路線の通行止めで天草地域への道が完全に寸断され、孤立することが過去14年で3回発生。(写真①、図1)



写真① 道路被災状況(国道57号)

図1 災害による全面通行止め発生件数(H18～R2)

②地域産業へ支障をきたす輸送経路

○対象地域で収穫される洋ランや宿根かすみ草等は、関東・関西方面へ陸送され地域の経済を担っている。(図2、3)
○対象地域は、空港や高速道路とのアクセスが脆弱なうえ、国道57号・266号は線形が悪く、洋ランは輸送中の揺れにより花が落下し品質低下が発生。

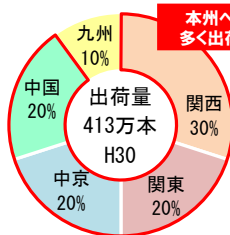


図2 洋ラン類(鉢もの)出荷割合(宇城市)

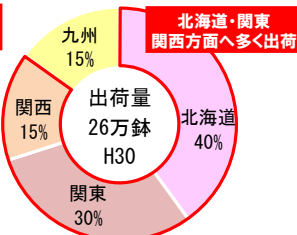


図3 宿根かすみ草出荷割合(宇城市)

③観光シーズンの著しい渋滞

○天草地域は、魅力ある観光資源に恵まれているが、国道57号では観光シーズンの著しい渋滞により、移動に通常の3倍の時間を要している。(写真②、図4)



写真② 対象区間の渋滞状況(R1.5.2 16時)

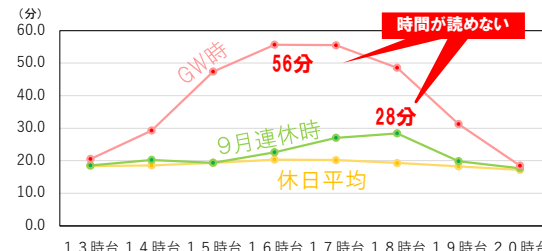


図4 対象区間の所要時間(熊本市方面)

④地域住民の生活への支障

○国道57号は、正面衝突や車両単独事故の発生割合が県内直轄国道平均の約10倍であり、事故発生時には、迂回路がないため逃げ道がなく約3時間に渡り渋滞が発生。(図5)
○宇城・天草地域と熊本市との通勤通学流動は増加傾向にあるが、災害や事故による長時間の渋滞により通勤通学に支障をきたしている。

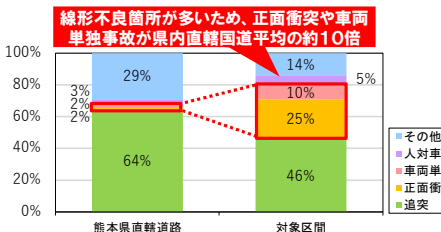


図5 国道57号対象区間における死傷事故類型割合

⑤救急医療施設への低い速達性と走行性

○天草地域から熊本市内の第三次救急医療施設への搬送件数は大きく増加しているが、搬送に長時間を要している。(図6)
○また、国道57号、国道266号には、カーブなどの線形不良箇所が多く、搬送時の揺れにより患者への負担が大きい。

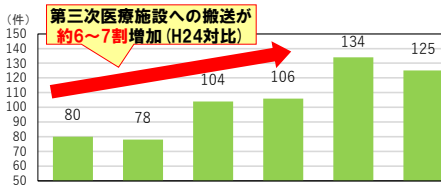


図6 天草地域の第三次医療施設への管外搬送件数

2. 原因分析

①被災や事故による通行止めリスクの高い現道

○国道57号と266号は、土砂災害警戒区域等の被災リスクの高い箇所が多く存在し、同時通行止めによる天草地域の孤立が発生するなど脆弱。(図7)
○事故発生時には、迂回路がないため、渋滞が長時間発生。(写真③)



写真③ 対象区間の事故発生状況

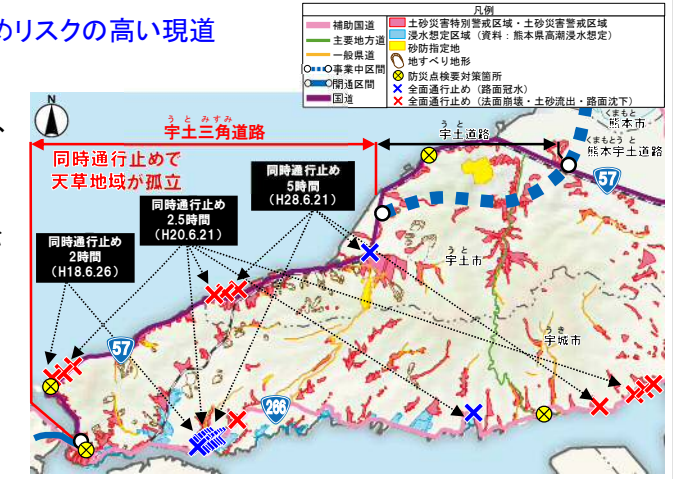


図7 国道57号・266号の被災箇所(H18～H28)と被災リスクの高い箇所

②熊本～天草間における走行性・速達性が確保されていない

○国道57号は、線形不良箇所が多いため走行性が悪く、救急患者の安静輸送や走行時の安全性の確保、地域の農林水産品輸送時の品質確保が困難。(図8)
○天草地域は第3次救急医療施設などの主要施設が集中する熊本都市圏まで120分以上を要し、熊本県が掲げる「県内90分構想」実現に向けて最も課題が大きい地域であり、速達性の確保が困難。(図9)

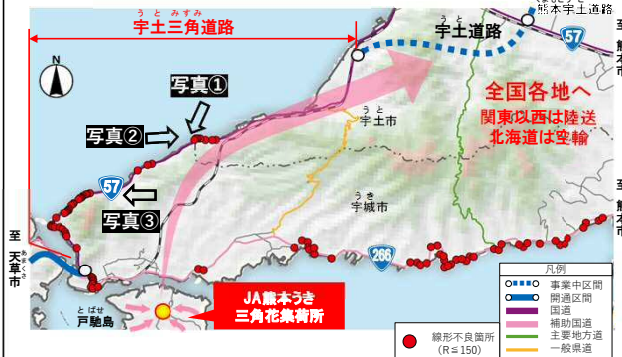


図8 三角花集荷場からの輸送ルートと線形不良箇所



図9 熊本市役所からの所要時間圏域

3. 政策目標

- ①災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築
- ②走行性・速達性の向上による産業活動の支援
- ③定時性・速達性の確保による観光振興の支援
- ④安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上
- ⑤走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援

熊本天草幹線道路(宇土～三角)における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価項目			【案①】現道(国道57号)改良案	【案②】別線整備案(中央ルート)	【案③】別線整備案(南側ルート)
防災	① 災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	災害時の代替路機能	× 現道利用のため代替路が確保されない 国道57号沿道の土砂災害警戒区域の影響は回避されない	○ 別線整備により代替路が確保される 一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能	○ 別線整備により代替路が確保される 一部、土砂災害警戒区域や高潮浸水想定区域を通過するが、構造物等により回避可能
産業・物流	② 走行性・速達性の向上による産業活動の支援	宇城・天草地域の産業施設から熊本市の卸売市場までの走行性	△ 現道の線形不良箇所を改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため効果は、案②、案③より小さい	○ 現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる	○ 現道の線形不良箇所を回避するため、走行性の向上が見込まれる
		宇城・天草地域の産業施設から熊本市の卸売市場までの移動時間	△ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	○ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる
観光	③ 定時性・速達性の確保による観光振興の支援	観光地への移動時間 熊本市～天草地域の観光地(天草の崎津集落)	△ 天草地域への移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	○ 天草地域への移動時間の短縮が図られる	○ 天草地域への移動時間の短縮が図られる
暮らし	④ 安全性・定時性・速達性の確保による生活利便性の向上	交通事故のリスクと事故発生時の迂回路機能	△ 通過交通が混在し、沿道出入箇所や交差点があるため、交通事故のリスクは懸念される 事故発生時の迂回路は確保されないが、車線数が確保されるため、早期の復旧が期待できる	○ 別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる	○ 別線整備により現道の通過交通が減少するため、事故の発生リスクが減少するうえ、迂回路の確保により定時性の向上が見込まれる
		宇城・天草地域から熊本市への移動時間	△ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られるが、案③より劣る 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる	○ 宇城地域から熊本市までの移動時間の短縮が最も図られる 天草地域から熊本市までの移動時間の短縮が図られる
医療	⑤ 走行性・速達性の向上による救急医療活動の支援	宇城・天草地域から熊本市内の第三次救急医療施設(済生会熊本病院)までの走行性・搬送時間	△ 線形不良箇所を改良するため走行性の向上が見込まれる 宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る 天草地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案②、案③より劣る	△ 別線整備により走行性の向上が見込まれる 宇城地域からの搬送時間の短縮が図られるが、案③より劣る 天草地域からの搬送時間の短縮が図られる	○ 別線整備により走行性の向上が見込まれる 宇城地域からの搬送時間の短縮が最も図られる 天草地域からの搬送時間の短縮が図られる
		生活環境	大気質・騒音等	△ 集落の周辺を通過するため、生活環境に影響を与える可能性は案②よりも大きい	○ 集落を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい
道路整備による影響	⑦ 自然環境	田畑・山地の改変	○ 田畑・山地の改変は少ない	× 概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴うが、案③より山地部を通過するため、山地の改変が大きい。	△ 概ね田畑・山地を通過し、主に田畑・山地の改変を伴う
	⑧ 集落への影響	移転が必要となる家屋等の数	× 沿道に隣接する家屋が多く、移転等は最も多い	○ 集落・市街地を概ね回避するため、家屋の移転等は少ない	△ 集落の周辺を通過するため、案②より家屋の移転等は多い
	⑨ 沿道利用	周辺からのアクセス利用	△ 国道57号沿道集落・施設からのアクセス性は高い 国道266号沿線集落・施設からのアクセス性は低い	× 国道57号や国道266号沿線集落・施設からのアクセス性は低い	△ 国道57号沿線集落・施設からのアクセス性は低い 沿線集落・施設が集積する国道266号からのアクセス性は高い
	⑩ 段階的な効果の発現	発現の時期	○ 現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる	× 部分的な開通が困難なため、効果の発現は全線開通後となる	△ 部分的な開通が可能のため、段階的に効果発現が見込まれる
	⑪ コスト	整備に要する費用	△ 約800～850億円	× 約850～900億円	○ 約700～750億円

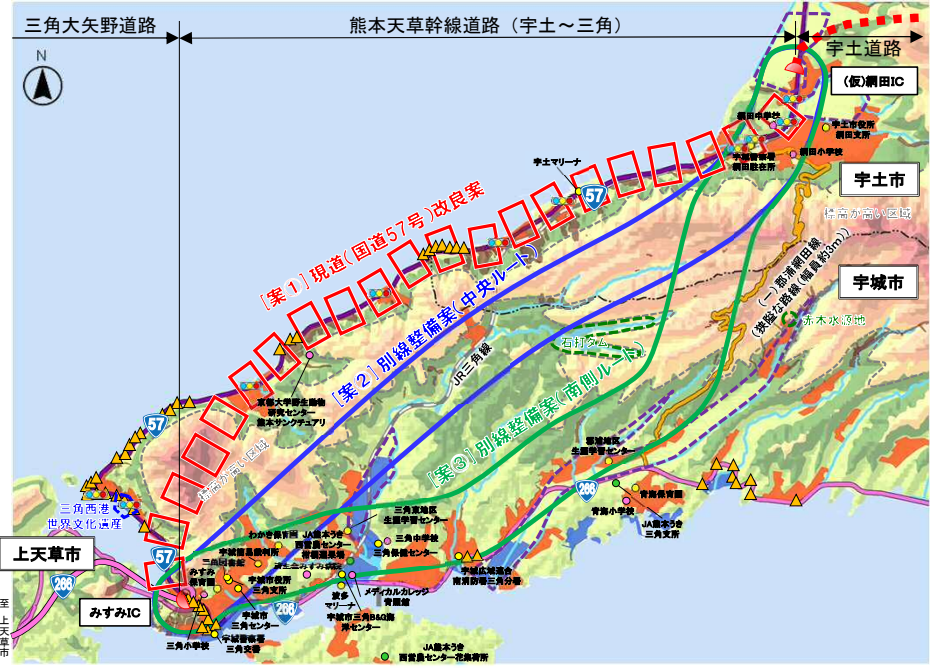


図10 熊本県宇土～三角地域における対策案検討

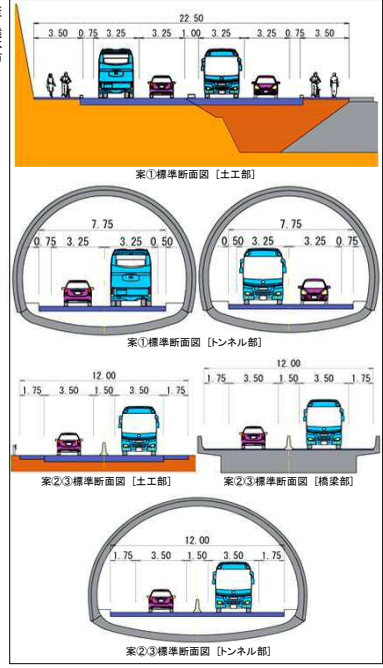


図11 各案の標準断面図(単位:m)

対応方針：【案③】別線整備案(南側ルート)による対策が妥当

【計画概要】

- 路線名：熊本天草幹線道路(宇土～三角)
- 区間：熊本県宇土市上網田町～熊本県宇城市三角町
- 概略延長：約13km ・車線数：2車線
- 設計速度：80km/h ・概ねのルート：図10のとおり

(参考) 当該事業の経緯等

【地元調整の状況等】

- R 1.5 : 第1回九州地方小委員会 ※計画段階評価手続き着手
- R 1.8～10 : 第1回意見聴取(地域の課題と政策目標(案))
- R 2.2 : 第2回九州地方小委員会
- R 2.8～10 : 第2回意見聴取(対応方針(複数案)の検討に際し重視する項目)
- R 3.2 : 第3回九州地方小委員会

【地域の要望等】

- R 1.6 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会が早期事業化を要望
- R 1.8 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会、熊本天草幹線道路整備促進協議会が早期事業化を要望
- R 1.11 : 宇土市長、宇土市議会議長、地域高規格道路対策特別委員会が早期事業化を要望
- R 2.2 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会が早期事業化を要望
- R 2.7 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会が早期事業化を要望
- R 2.8 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会が早期事業化を要望
- R 2.11 : 宇土市長、宇土市議会議長、地域高規格道路対策特別委員会が早期事業化を要望
- R 2.12 : 熊本天草間幹線道路整備促進期成会がR3新規事業化を要望